



あの男が現れるまで、
私たちは家族だった



第69回カンヌ国際映画祭

「ある視点」部門審査員賞受賞

淵に立つ

浅野忠信 筒井真理子 古舘寛治

太賀 三浦貴大 篠川桃音 真広佳奈

監督・脚本・編集 | 深田晃司「歓待」「ほとりの朔子」「さようなら」

主題歌 | HARUHI「Lullaby」(Sony Music Labels Inc.)

小説 | 「淵に立つ」深田晃司著 (ポプラ社刊)

配給: エレファントハウス、カルチャヴィル 英語題: HARMONIUM 2016年/日本・フランス/日本語/ヨーロッパ・ヴィスタ/DCP/119分

助成: 齋文化庁文化芸術振興費補助金 ©2016映画「淵に立つ」製作委員会/COMME DES CINEMAS fuchi-movie.com



未だかつて誰も見たことのない “家族ドラマ”に、世界が熱狂! 絶賛!

静かに燃え上がる罪と罰の物語。
ロベール・ブレッソンや
大島渚を彷彿とさせる!

Variety誌

愛や血のつながりで結ばれた関係が
いかに脆いかをじっくりと描いている。
最後まで目が離せない!

SCREEN Daily誌

怒れる映画作家!
辛辣なメロドラマで見る者の
心を激しく揺さぶる。

Le Monde紙

なんという衝撃の結末!
日本で最も創造的な
映画監督の1人だ。

The Hollywood Reporter誌

俳優たちが見事!
古舘は胸をえぐるような
演技を披露し、
筒井の演技のセンスは完璧に近く、
さらに、浅野は圧倒的な
存在感を見せている

Variety誌

カンヌが20年ぶりに発見した! 初ノミネートで初受賞の快挙! 世界を挑発する日本の新世代・深田晃司監督

『歓待』(11)、二階堂ふみ主演『ほとりの朔子』(14)、平田オリザの戯曲映画化『さようなら』(15)など、一作ごとに人間ドラマの新たな地平を切り拓き、30代の若さで世界の映画シーンにその名を刻み続ける深田晃司の最新作が、カンヌ国際映画祭に初参加でいきなり公式部門にノミネートされ受賞を果た

した! 黒沢清、是枝裕和などカンヌ常連組に仲間入りし、河瀬直美監督『萌の朱雀』(97)が脚光を浴びて以来、久々に登場した日本の新たな才能に、世界中が熱烈な期待を寄せている。

崩壊した家族に、光は射すのか —— 圧倒的な人間描写で“家族”を問い直す、2016年最大の衝撃!

郊外で小さな工場を営む夫婦とその一人娘。ある日、夫の旧い知人で前科を持つ男がやって来て、奇妙な共同生活が始まるが、やがて、男は残酷な爪痕を残して姿を消す。それから8年。夫婦は皮肉なめぐり合わせにより、男の消息の手がかりをつかむ。だが救いのように見えたそれは、夫婦にとって互い

の心の奥底を覗き込む行為に他ならなかった…。

怪しくも魅力的な行まいで家族を翻弄する男を演じるのは、『私の男』『岸辺の旅』やマーティン・スコセッシ監督『沈黙』などに出演し、国際的に活躍する浅野忠信。夫婦役には、古舘寛治が寡黙さの内

に覚悟を秘めた夫役で新境地を見せ、筒井真理子が妻の心身の変化を凄まじいまでの説得力で体現する。製作陣には、日本で大ヒット＆世界45か国で上映された映画『あん』の主要メンバーが揃い、日仏合作となる本作は、完成直後から、世界各国より上映のオファーが相次いでいる。

淵に立つ

監督・脚本・編集: 深田晃司

出演: 浅野忠信、筒井真理子、太賀、三浦貴大、篠川桃音、真広佳奈、古舘寛治

主題歌: HARUHI Lullaby (Sony Music Labels Inc) 小説: 『淵に立つ』深田晃司著 (ポプラ社刊)

配給: エレファントハウス、カルチャヴィル 英語題: HARMONIUM 2016年 / 日本・フランス / 日本語 / ヨーロピアン・ウィスタ / DCP / 119分

©2016映画『淵に立つ』製作委員会 / COMME DES CINEMAS fuchi-movie.com

10.8(土) ROAD SHOW